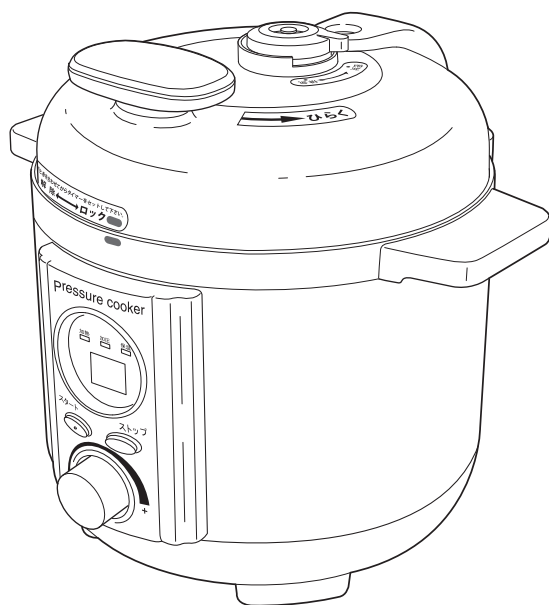


電気圧力鍋 LPC-T1201

取扱説明書【保証書付】

ご使用前に本書を必ずお読みください。

※ご使用前に付属品・部品などが揃っているかご確認をお願いいたします。本製品は、厳重な品質管理と検査をして出荷しておりますが、万一欠損・欠落等ございましたらご購入後1か月以内に、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客さまサービス窓口・修理受付」までお問い合わせ頂きますようお願いいたします。速やかに無償で送付させていただきます。



目次

安全上のご注意	1 ~ 3
使用上のお願い	3
仕様	4
各部のなまえ	5 ~ 6
正しい使いかた	7 ~ 15
お手入れのしかた	17 ~ 24
故障かな?と思ったら	25 ~ 26
アフターサービスについて	27
別売品について	28

このたびは、電気圧力鍋をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられたあとも、大切に保管してください。

安全上のご注意

- * ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

絵表示と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられたあとは、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

圧力鍋は加熱されると内部が高温・高圧になり危険です。
取り扱いを誤ると、けがややけどなどの傷害を負うことがありますので、以下の注意事項をよくお守りください。

警告



● 電源プラグにホコリが付着している場合はふきとる。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。



● 定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。



● 交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因になります。



● 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
ショート・感電・発火・発煙の原因になります。



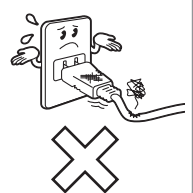
分解禁止

● 改造・分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。
けが・火災・感電の原因となります。修理はお買い上げの販売店または、アルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



禁止

● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
ショート・感電・発火の原因になります。



⚠ 警告



禁止

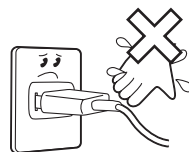
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。スイッチを押さない。けが・感電の原因になります。



禁止

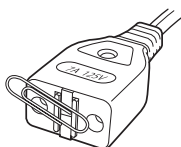
●子供や介護の必要な方だけでは使わない。けが・感電の原因になります。



禁止

●器具用プラグ（磁石式）の先端にクリップや金属質のものを付着させない。

ショート・感電・発火の原因になります。



禁止

●水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



禁止

●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない。

火災の原因になります。



禁止

●本体を含むすべての部品に、食器洗浄器、食器乾燥機は使用しない。

火災・破損・故障の原因になります。



禁止

●加熱中は無理にふたを開けない。

けが・やけどの原因になります。



禁止

●レトルトパックやアルミパックなどを入れて調理しない。

火災・故障の原因になります。



禁止

●重曹や炭酸、多量の油など急激に熱反応して発泡するものは使用しない。

火災・故障の原因になります。



禁止

●浮き圧力弁や安全弁おもりに顔や手を近づけない。

やけどの原因になります。

特に乳幼児は近づかせないように注意してください。



禁止

●カレーやシチューなど粘りけの強いものを入れて加圧調理しない。

粘りけの多い内容物で安全弁や浮き圧力弁部分をふさいで安全装置が働かなくなり、圧力調整ができなくなる可能性があります。



禁止

●器具用プラグをなめさせない。

けが・感電の原因になります。

特に乳幼児が誤ってなめないように注意してください。



指示

●蒸気を排出してからふたを開ける。

蒸気排出時には、やけどをしないように十分注意してください。

蒸気が排出しきっていないうちに無理にふたを開けると高温の内容物が噴き出し、やけどをする恐れがあります。



禁止

●調理容量を超えて調理しない。

材料が噴き出し、けが・やけどの原因になります。特に豆類・麺類の調理をする際は、豆類MAX線を超えて調理しないでください。

安全上のご注意

⚠ 注意



●電源プラグを抜くときは電源コードをもち、必ず電源プラグをもって引き抜く。ショート・感電の原因になることがあります。



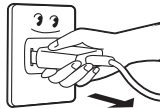
●専用コード以外は使わない。故障・発火の原因になります。



●火気や湿気のあるところ、直射日光の当たる所で使わない。故障・変形の原因になります。



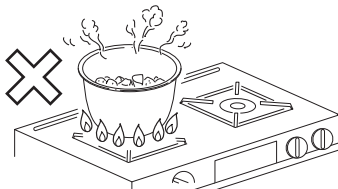
●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。けが・やけど、絶縁劣化による漏電火災・感電の原因になることがあります。



●壁や家具の近くで使用しない。壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。



●内がまを直火にかけたり、電子レンジやIH調理器具など他の熱源で使用しない。変形・破損の原因になります。



●調理する際は、排気弁カバーをつける。調理物が排気弁に詰まり、故障の原因になります。



●調理以外に使用しない。故障の原因になります。



●持ち運ぶ際は本体の取っ手を両手で持ち、ふたのハンドルは使用しない。けが・やけどの原因になります。

使用上のお願い

■ごはんつぶなど異物をつけたまま使わない。

■空だきや過剰な加熱をしない。

■別の調理なべなどを入れて使わない。

故障の原因になります。

■調味液、調味料は合わせてよく溶かしてから入れる。

生煮えになるなど、うまく調理ができない原因になります。

■調理中や調理直後、ふたが熱くなっている際に「密封」「排気」の文字をタオルなどでこすらない。

文字がかすれてしまうことがあります。

■内がまで米を洗わない。強い衝撃を与えない。

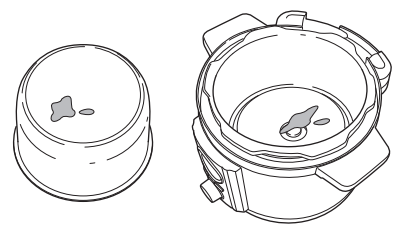
フッ素加工を傷める原因になります。

内がまが変形すると、ふたが閉まらなくなったり、蒸気漏れなどの原因になります。

新しい内がまをお買い求めください。(28ページ参照)

■ふた感知スイッチに磁石、金属、鉄類を近付けない。磁界および強磁性体の近くで使用しない。

ふた感知スイッチが誤動作する原因になります。



仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	600W
外形寸法	約268(幅)×260(奥行)×255(高さ)mm
質量	約2.7kg
調理容量	調理MAX (1.2ℓ) 豆類MAX (0.6ℓ)
呼び容量	約2.0ℓ
コード長	約1.5m (マグネット式プラグ)
使用最高圧力	65kPa
温度ヒューズ	157℃
生産国	中国
付属品	計量カップ、しゃもじ、蒸皿、蒸気水受け、 安全弁おもり (ふたにセット済み)、電源コード、レシピブック (2種)、 予備用浮き圧力弁シール2個 (同封注意書に添付)、 取扱説明書 (本書：保証書付き)

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

この製品はS-JETマーク・SGマークを取得しています。



S-JETマーク

電気用品安全法を補完し、電気製品のより安心安全のため、第三者認証機関によって製品試験及び工場の品質管理の調査が行われています。



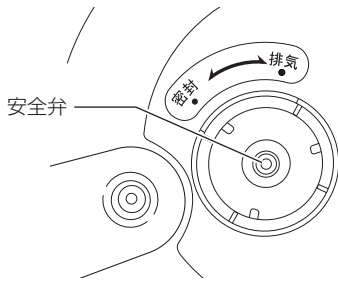
対人賠償責任保険付
製品安全協会

SGマーク

一般財団法人製品安全協会が定めた認定基準に適合したことを示し、万一製品の欠陥による人身事故が生じた場合、賠償措置がとられます。

各部のなまえ

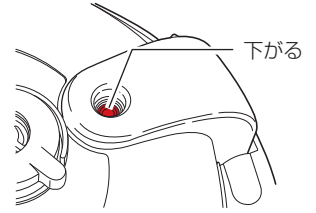
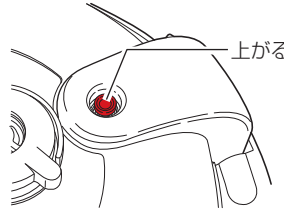
安全弁



浮き圧力弁

●圧力が
かかっている場合

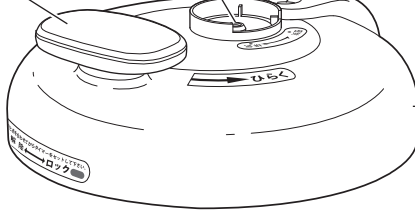
●圧力が
かかっていない場合



安全弁おもり



ハンドル

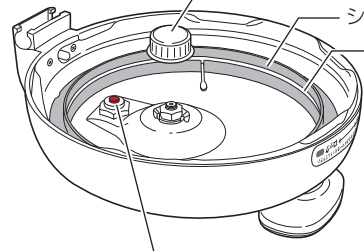


ふた（裏側）

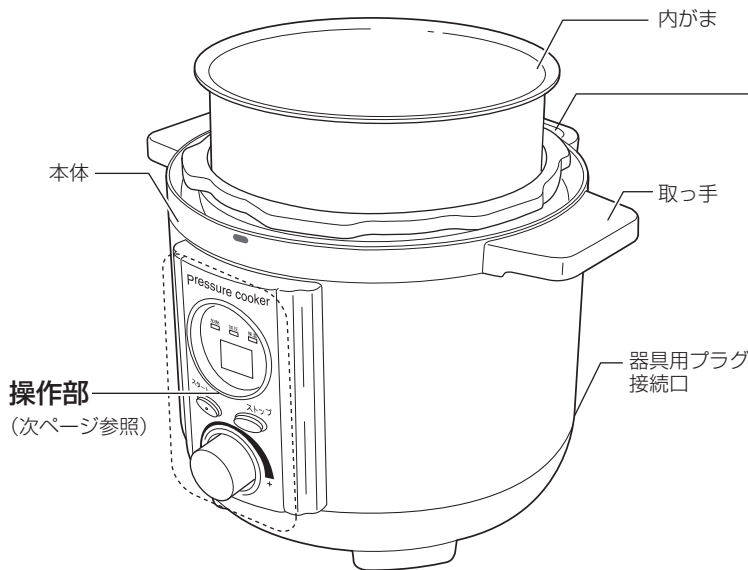
排気弁カバー

シーリング

金属リング



浮き圧力弁シール

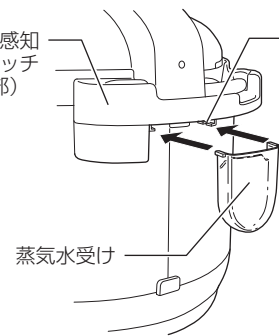


蒸気水受けの取り付け

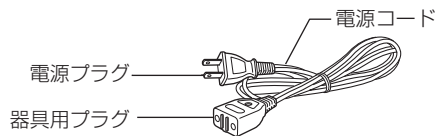
●本体（裏面）の溝へ
差し込んでください。

ふた感知
スイッチ
(内部)

溝



蒸気水受け

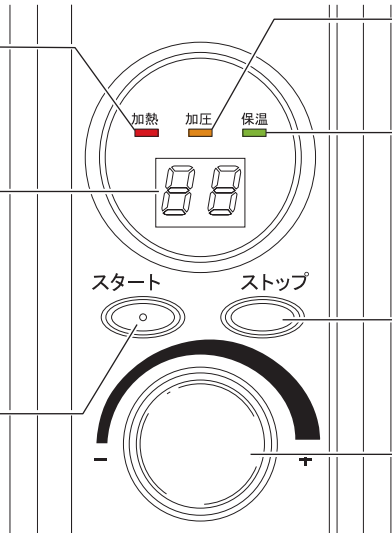


操作部

加熱ランプ (赤色)
調理が開始されると点滅します。

時間表示窓
タイマーつまみで設定した加圧時間を表示します。
加圧中は、残り時間を表示します。
調理終了後は、保温経過時間を表示します。

スタートボタン
調理を開始するときに押します。



加圧ランプ (オレンジ色)
調理開始後約10~20分経過後に、加圧が開始されると点灯します。

保温ランプ (緑色)
調理終了後に点灯します。
※調理終了後は、自動的に保温状態になり、約6時間後に保温が終了し待機状態に戻ります。

ストップボタン
途中で調理を止めたいときに押します。

タイマーつまみ
加圧時間を設定するときに回します。
1分刻みで1分から30分まで設定できます。

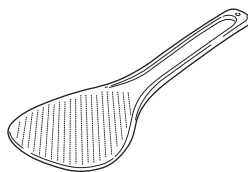
付 属 品

計量カップ

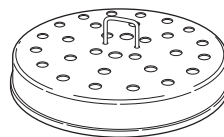


(約180ml)

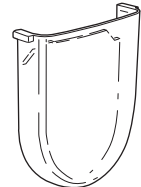
しゃもじ



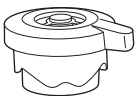
蒸皿



蒸気水受け

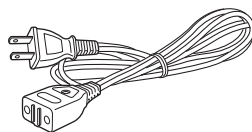


安全弁おもり



(ふたにセット済み)

電源コード

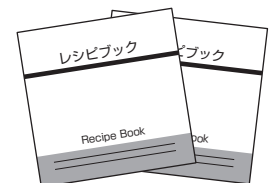


予備用
浮き圧力弁シール
(2個)



(同封注意書に添付)

レシピブック (2種)

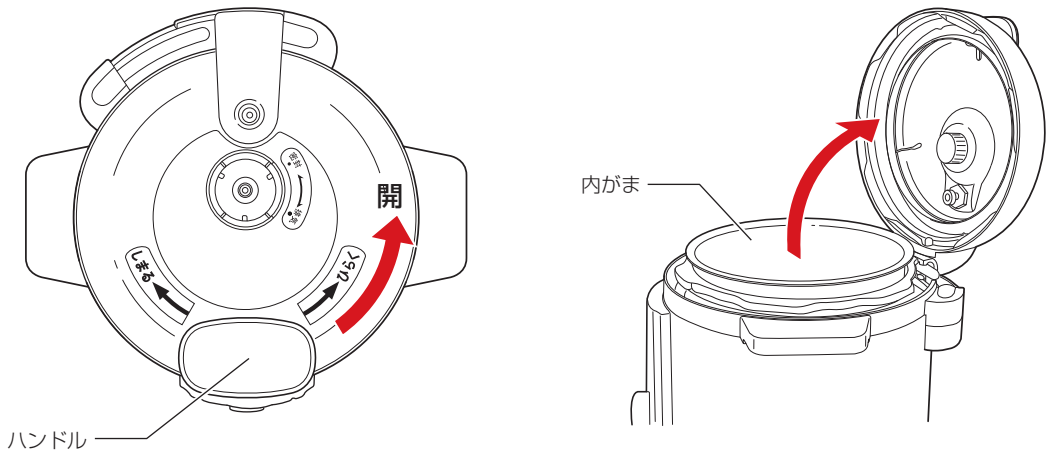


正しい使いかた

- 料理の作りかたや材料の分量については、付属の「レシピブック」をご覧ください。

1 ふたを開けて、内がまを取り出します。

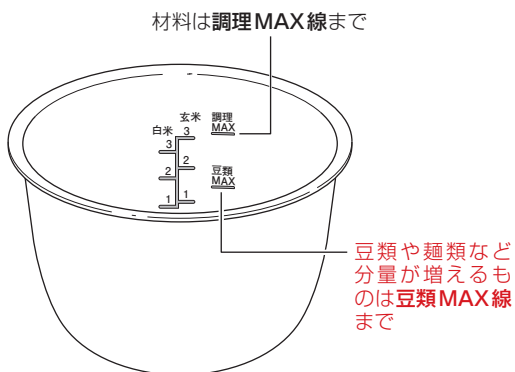
- ふたのハンドルを持って、図の矢印の方向へ回して、持ち上げてください。



2 内がまに材料を入れ、本体にセットします。

- ⚠️ **調理容量を守ってください。(豆類・麺類は特に注意してください。)**

- 内がまの周囲の水分や異物をふき取ってください。
内がまと本体の間に水や食材をこぼさないように注意してください。
故障の原因になります。
- 内がまとヒータープレートが傾いていないことを確認してください。



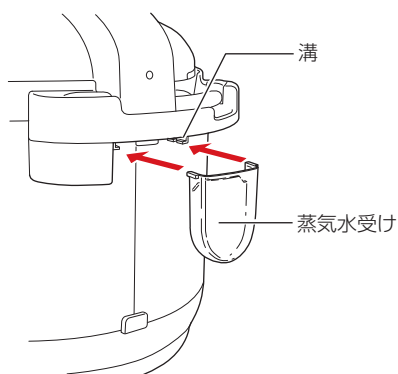
ご注意

- 多量の油や重曹は使用しないでください。
- カレーやシチューのルーなど、粘性のものは調理後、ふたを開けてから入れてください。

調理MAX線・豆類MAX線を超える食材・調味料・水分の投入は、安全弁や浮き圧力弁部分をふさいで安全装置が働かなくなり、圧力調整ができなくなる可能性があります危険です。

3 蒸気水受けを本体裏面に取り付けます。

- 本体（裏面）の溝へ差し込んでください。

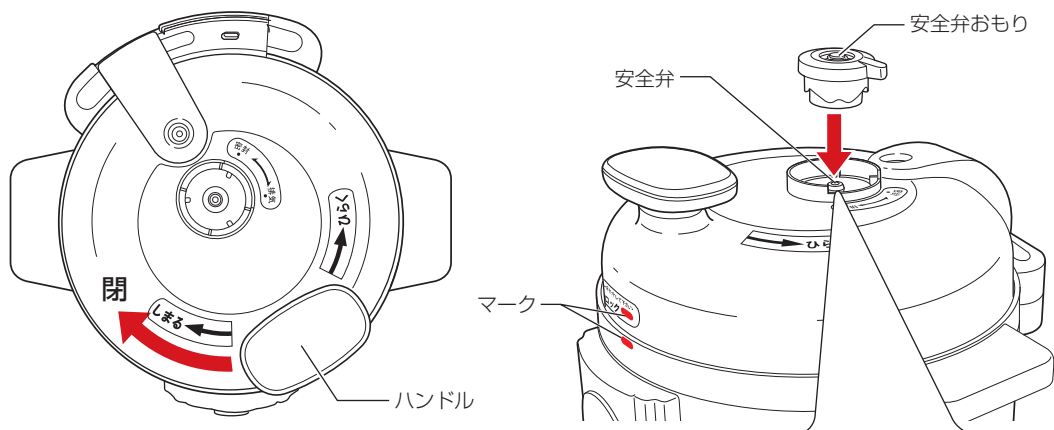


ご注意

- 調理後にふたを開けた際、多量の蒸気水が発生しますので必ず取り付けてください。
- 続けて調理をおこなう際は溜まった水を一度排水してください。
取り付けをしなかった場合、蒸気水がこぼれてやけどや故障の原因になります。

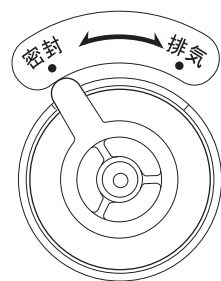
4 ふたを閉めて、安全弁おもりを取り付けます。

- ふたのハンドルを持って、ふたを閉めて図の矢印の方向へ回転が止まるまで回し、ロックの赤いマークと本体の赤いマークを合わせてください。
- 安全弁おもりは下図のように、「密封」の位置に合わせてください。



- 安全弁おもりの取り付け方向を確認してください。
- 安全弁・安全弁おもりに汚れや詰まりがないことを確認してください。

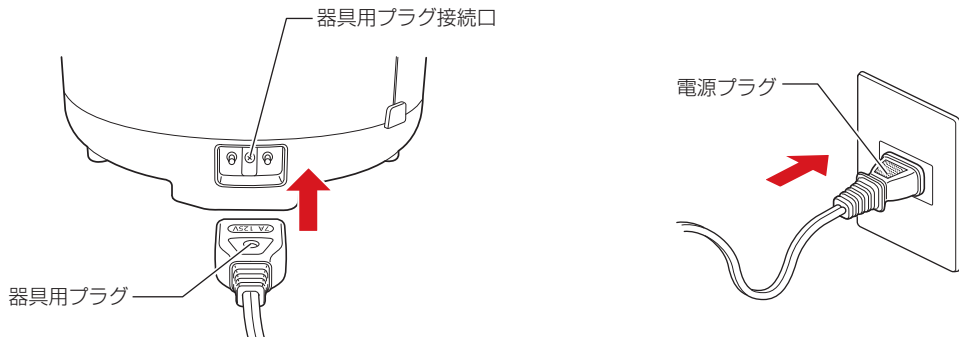
汚れ、詰まりがあると圧力調整がうまくいかずに本体の最終的な安全装置が働き、ふたから蒸気が勢いよく噴き出す可能性があります。



正しい使いかた

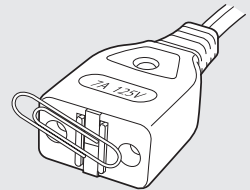
5 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

- 器具用プラグを本体の器具用プラグ接続口に接続してから、コンセントに電源プラグを差し込んでください。
- 通電すると、時間表示窓の表示が点滅します。



ご注意

- 器具用プラグ（磁石式）の先端にクリップや金属質のものを付着させない。
ショート・感電・発火の原因になります。

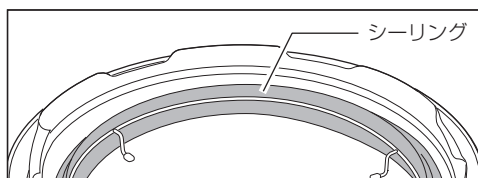


! 調理を開始する前に必ず確認してください。

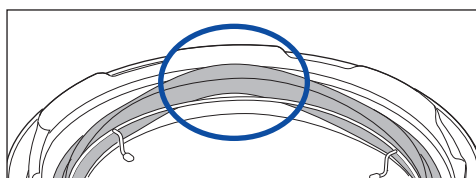
● 正確にセットされていないと、蒸気が漏れてタイマーが動かなかったり、加熱状態が続いて焦げたりする可能性があります。

① ふたの裏のシーリング(シリコン)が正確にセットされていますか?

⇒ 確実にセットしないと、蒸気が漏れる可能性があります。(「シーリングの取り付けかた」19ページ参照)



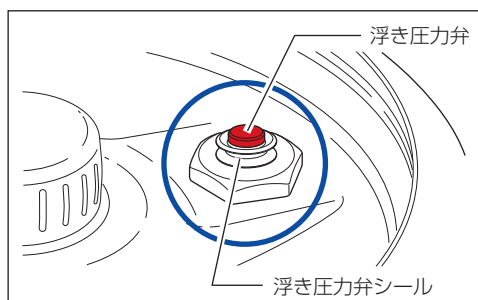
良い例(○)



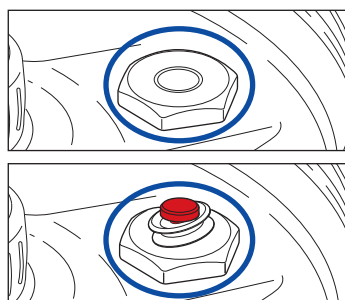
悪い例(× シーリングのずれ)

② ふたの裏の浮き圧力弁(赤色)、浮き圧力弁シールは正確にセットされていますか?

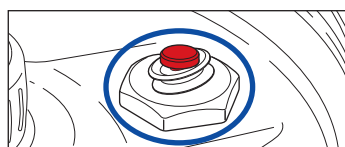
⇒ 確実にセットしないと、蒸気が漏れる可能性があります。(「浮き圧力弁の取り付けかた」22ページ参照)



良い例(○)



浮き圧力弁、
浮き圧力弁
シールがセット
されていない

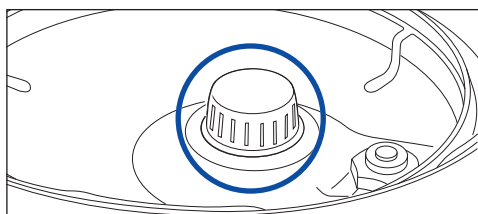


浮き圧力弁
シールのずれ

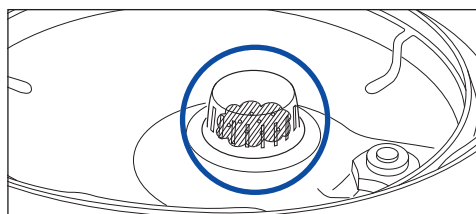
悪い例(×)

③ ふたの裏の排気弁カバーに食材が残っていませんか?

⇒ 食材がカバーに詰まると過剰圧となり、危険ですので食材を取り除いてください。(「排気弁カバー」24ページ参照)




良い例(○)

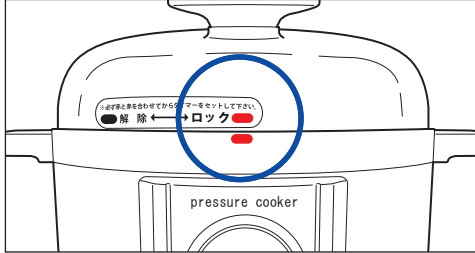


悪い例(× 食材の詰まり)

正しい使いかた

④ ふたが確実に閉まっていますか。

⇒ふたのロックマークと本体の赤い「」マークが合っていることを確認してください。



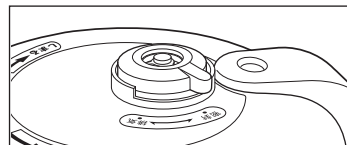
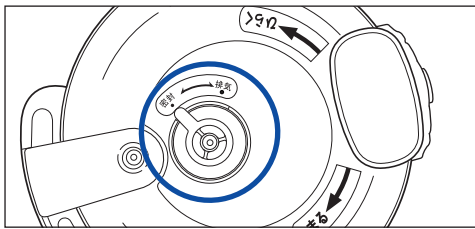
良い例(○)



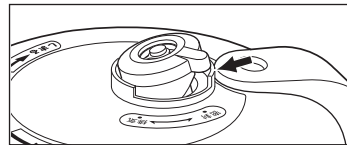
悪い例(×)

⑤ 安全弁おもりが正確にセットされていますか？

⇒合わせ位置を間違ったり、おもりが斜めになったりすると、蒸気が漏れる可能性があります。(「安全弁おもりの取り付けかた」20ページ参照)



良い例(○)

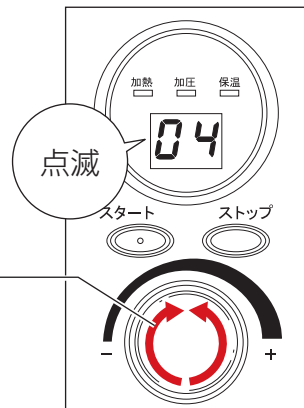


悪い例(×)

6 タイマーつまみを回して、加圧時間を設定します。

- 時間表示窓に設定時間が点滅表示されます。
- 1分刻みで1分から30分まで設定できます。
- 💡 「00」表示時にスタートボタンを押すと、加熱→保温の動作をします。温め直したい時に便利です。

<例> タイマーを4分に設定する場合



※タイマーつまみは、左右どちらに回しても設定できます。

7 スタートボタンを押します。

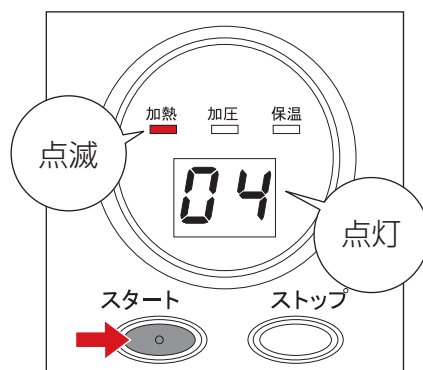
- 時間表示窓の設定時間が点灯し、加熱ランプが点滅して、調理（加熱）がスタートします。

※加熱ランプ点滅中は、タイマーは進みません。

※ふたが閉まっていない状態でスタートボタンを押すと、時間表示窓に

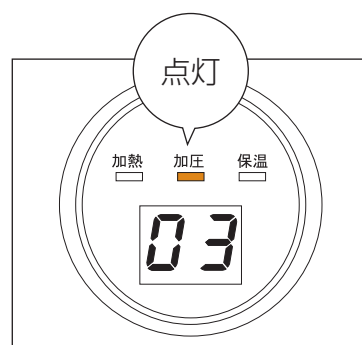
「E 7」と表示され、電子音が「ピーピーピー」と繰り返し鳴ります。ふたを確実に閉めてください。

- 途中で調理を止めたいときは、ストップボタンを押します。



- 約 10 ~ 20 分経つと加圧ランプが点灯して、加圧がスタートします。

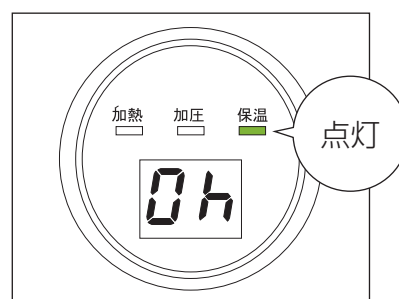
※加圧ランプが点灯した時点からタイマーが働き、時間表示窓の数字が 1 分刻みで残り時間を表示します。



- 設定した時間が経過すると、電子音が「ピーッ」と 5 回鳴り、保温ランプが点灯して、調理が終了します。

※自動的に保温状態になり、約 6 時間後に保温が終了し待機状態に戻ります。保温経過時間は、時間表示窓に 1 時間刻みで表示されます。

(1h、2h...6h)



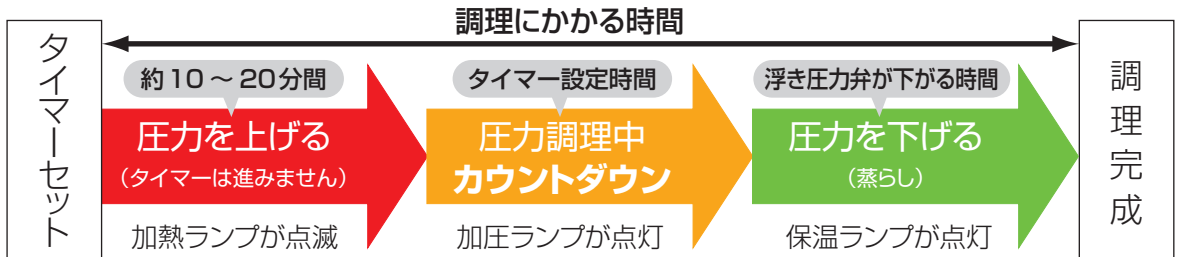
ご注意

- 調理中は振動などで蒸気が勢いよく噴き出すことがあるため、本体を移動させないでください。やけどの原因になります。
- 保温に切り替わっても余熱で圧力がかかっていますので、取り扱いには十分注意してください。

正しい使いかた

調理時間について

- 調理にかかる時間はタイマーをセットした時間ではありません。タイマーをセットしても圧力が上がるまではカウントダウンしません。また、保温に切り替わった後も余熱でさらに調理が進みます。材料の分量が多いほど調理時間は長くなります。
※食材の量や種類、水分量、水温、室温などによって異なります。



8 浮き圧力弁が下がったら、ふたを開けます。

ご注意

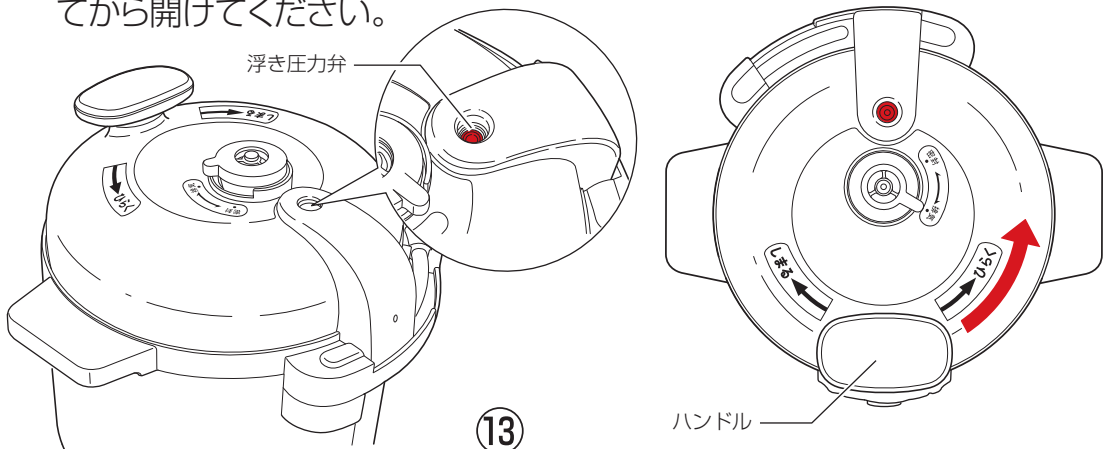
- ふたを開けるときの、内部に少しでも圧力が残っていると（浮き圧力弁が下がっていても）、ふたが飛んだり内容物が噴出したりして非常に危険です。内容物が噴出すると高温の内容物が手などにかかり、やけどの原因になります。ふたを開ける際は十分ご注意ください。

※保温ランプに切り替わった後、浮き圧力弁が下がるまで約10～40分かかります。（食材の量や種類によっては、さらに時間がかかることもあります。）

※浮き圧力弁が上がっているとふたは開きません。

- ①安全弁おもりを「排気」の位置に合わせて、蒸気を排気します。
- ②ハンドルを少し回し、ふたの隙間から蒸気が出ないことを確認してからふたを開けます。

※ハンドルの動きが重く感じられる場合は、内部に圧力が残っていて危険ですので、すぐにふたを開けずにしばらく放置し、ハンドルの動きが軽くなってから開けてください。



やむを得ず早くふたを開けたいときは

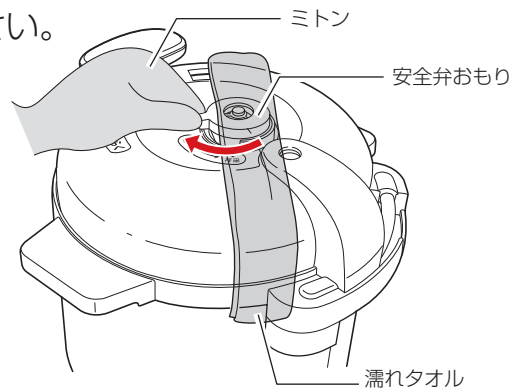
(浮き圧力弁が自然に下がりきる前にふたを開けたいとき)

⚠ 警告

加圧中は絶対にふたを開けないでください。高温の蒸気が噴き出し、けが・やけどの原因になります。

① 安全弁おもりを回転させて、蒸気(圧力)を排気します。

- 軽く濡らしたタオルを安全弁おもりにあててください。
- ミトンなどを使ってください。
- ゆっくり安全弁おもりを動かしてください。
- 浮き圧力弁が下がるまで蒸気(圧力)を排気してください。



ご注意

やけどには注意してください。

- 安全弁おもりは取っ手(凸部分)を持って動かしてください。
- 蒸気が勢いよく噴き出すことがあります。

② 浮き圧力弁が下がったら、ふたを開けます。

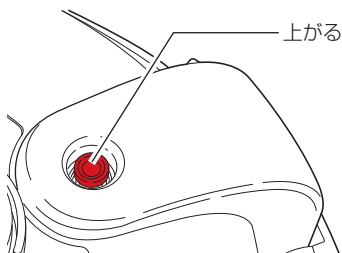
ご注意

ふたをスライドするとき、ふたが重い場合は無理に開けない。

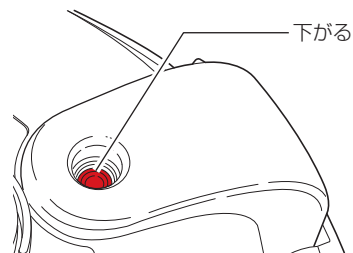
- ふたが重いときは、内部の圧力が完全に排気されていない可能性があります。内部に少しでも圧力が残っていると(浮き圧力弁が下がっていても)、ふたをスライドさせた際にふたが飛んだり内容物が噴出したりして非常に危険です。内容物が噴出すると、高温の内容物が手などにかかり、やけどの原因になります。無理に開けたりせず排気したままの状態ですばらく待ってから再度ふたを開けてください。

【浮き圧力弁】

- 圧力がかかっている場合



- 圧力がかかっていない場合



正しい使いかた

調理を中止するには

- ストップボタンを押します。

※調理中止後にふたを開けるときは、手順8（13ページ）を参照してください。

保温について

- 浮き圧力弁が下がってから米飯類を30分以上保温すると、ごはんがぱさついたり、かたくなる場合があります。
- 青野菜を長時間保温すると、においや変色の原因になることがあります。



使用後は、ストップボタンを押してから電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 必ず電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。
- 連続してご使用になる際は電源プラグを抜いて**本体を15分程度**冷ましてください。

また、安全弁おもりに詰まりが無いが、安全弁おもりの下に水が残っていないか必ず確認してください。（蒸気漏れの原因となります）

MEMO

お手入れのしかた



必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷ましてから行ってください。



お手入れ後は、各部品を正しく取り付けてください。

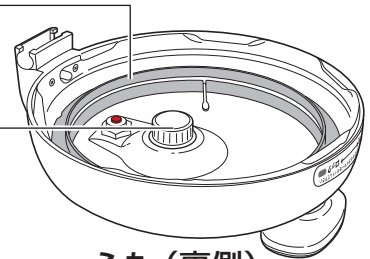
- 調理後は必ず下記のお手入れを行ってください。
- **本体の水洗いは絶対にしないでください。**
- シンナーやベンジン、みがき粉などは使用しないでください。
変色・サビ・傷の原因になります。
- 本体を含むすべての部品に、食器洗浄器や食器乾燥機は使用しないでください。
火災・破損・故障の原因になります。

シーリング

→19 ページ参照

排気弁カバー

→24 ページ参照



ふた (裏側)

安全弁おもり

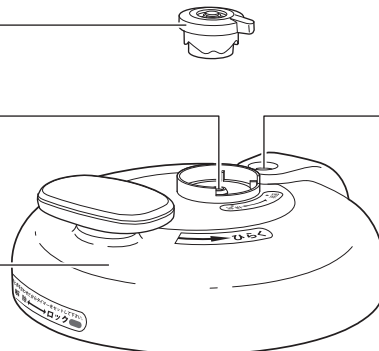
→20 ~ 21 ページ参照

安全弁

→20 ページ参照

ふた

→18 ページ参照



浮き圧力弁

→22 ~ 23 ページ参照

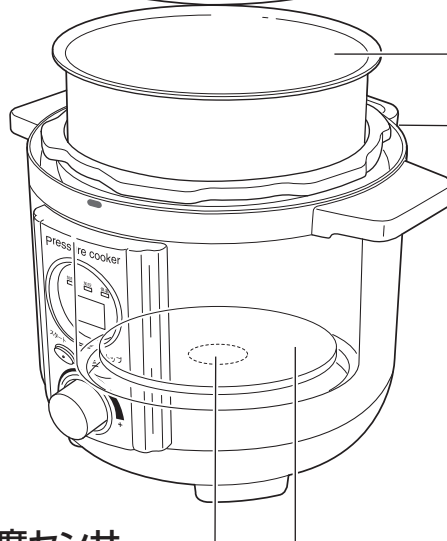
内がま

→ 中性洗剤とスポンジで洗い、水をふき取ってください。焦げや汚れがとれない場合は、水を含ませたメラミンスポンジでやさしくこすってください。

※内がまの底面は使用していく過程でキズがつきますが、機能上問題はありません。

蒸気水受け

→24 ページ参照



ヒータープレート・温度センサー

→ 異物などがこびりついたときは、中性洗剤を含ませたナイロンたわしで軽くみがき、固く絞ったふきんでふいてください。

※ヒータープレートの表面は使用していく過程でキズがつきますが、機能上問題はありません。

ふた

中性洗剤とスポンジで全体の汚れを洗い落としてください。
あらかじめ、安全弁おもりをふたから取り外してください。(20ページ参照)

取り外しかた

- ①取っ手を片手でささえ、ふたを約10cm開けます。
- ②ふたを約10cm開けた角度のまま、ふたを矢印の方向に回してレールから取り外します。



取り付けかた

- ①ふたを約10cm開けた角度で、ふたの溝をレールにはめます。
- ②ふたを約10cm開けた角度のまま、ふたを矢印の方向に回してレールに取り付けます。



お手入れのしかた

シーリング

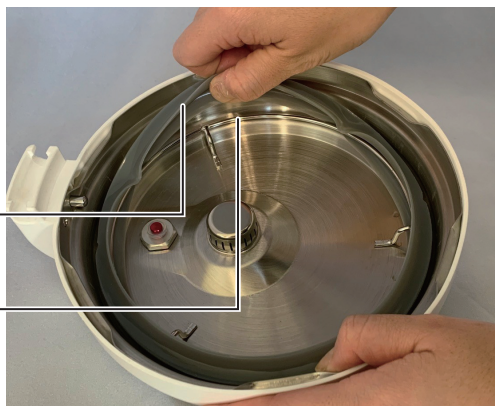
金属リングからシーリングを外し、中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。汚れやにおいなどが気になる場合は、重曹水をスプレーボトルに入れ吹きかけ、布で汚れなどをふき取り、水洗いしてください。

取り外しかた

シーリングを上向きに引っ張って金属リングから外します。

シーリング

金属リング



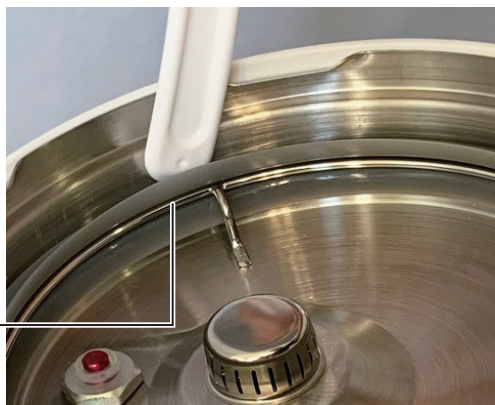
取り付けかた

金属リングにシーリングをはめ込みます。

※取り付けにくい場合は、しゃもじの柄の部分で押し込んでください。

※取り付けが不十分ですと、ふたが閉めづらくなったり、蒸気が漏れる恐れがあります。

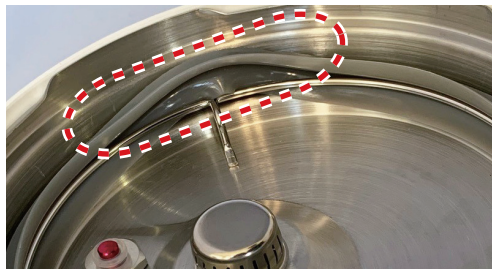
金属リング



良い例 (○)



悪い例 (×)



シーリングがずれている

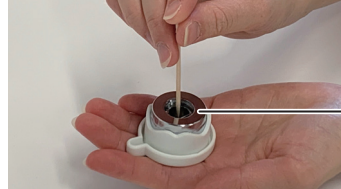
安全弁・安全弁おもり

※安全弁は取り外せません。ふたのお手入れ時に、汚れを洗い落としてください。(18ページ参照)

中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

穴詰まり

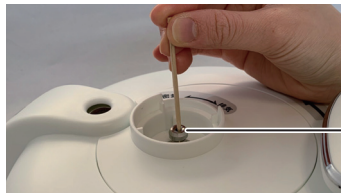
つまようじなどで異物を取り除いてください。



安全弁おもり

黒ずみ汚れ

安全弁の周りや安全弁おもりの内部の汚れは綿棒などで取ってください。

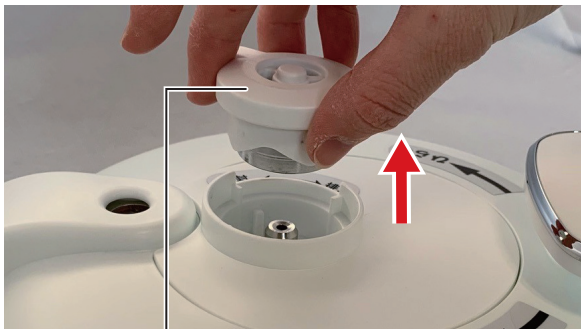


安全弁

※汚れたまま使用すると、蒸気漏れや加圧に切り替わらないなど、誤作動の原因になります。

取り外しかた

ふたを片手で押えながら安全弁おもりをまっすぐ引き抜いてください。



安全弁おもり

取り付けかた

安全弁おもりのスプリングの有無・向きを確認したあと(21ページ参照)、ふたを片手で押えながら安全弁おもりを強く押しはめ込んでください。



安全弁おもりは加圧時に圧力の調整をするため固定されません。

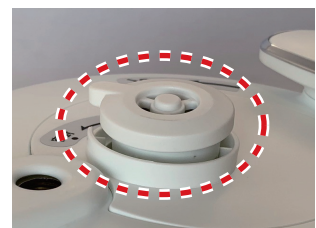
良い例 (○)



悪い例 (×)



向きが間違っている



斜めになったり浮いたりしている

お手入れのしかた

安全弁おもりの中の「スプリング」について

スプリングが無い場合や、向きが間違っていた場合、蒸気漏れの原因になります。お手入れの際は、スプリングの有無・向きを確認してください。



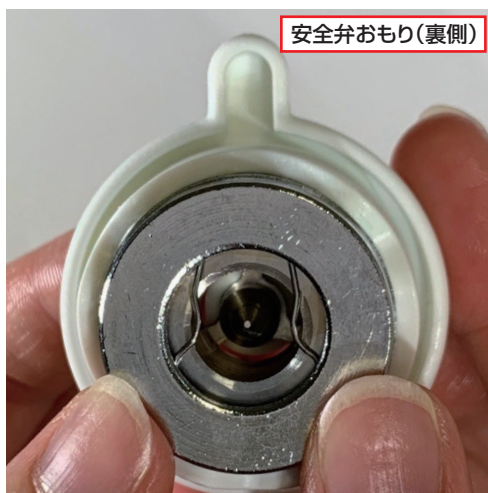
安全弁おもり



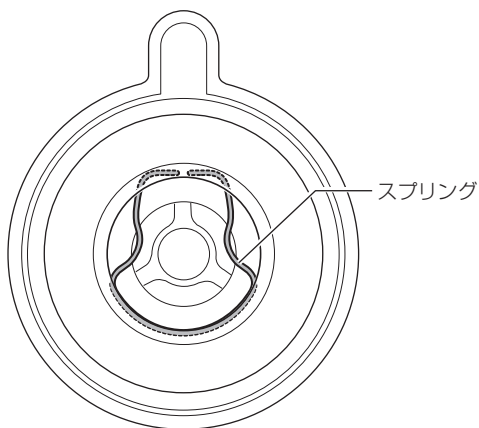
スプリング

安全弁おもりとスプリングが下図の向きになるように合わせてください。(つまようじなどでスプリングを回転させて、正しい向きに合わせてください。)

良い例 (○)



安全弁おもり(裏側)



スプリング

浮き圧力弁

中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

※浮き圧力弁シールは浮き圧力弁を固定する部品です。

お手入れなどの際に、紛失されないように注意してください。

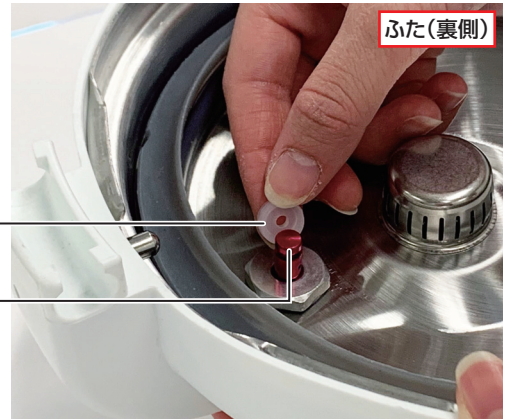
(予備として浮き圧力弁シール2個を同封注意書に添付しています。)

取り外しかた

- ①本体からふたを取り外します。(18ページ参照)
- ②浮き圧力弁シールを指で抜き取ります。
- ③浮き圧力弁をふたの表側から取り外します。

浮き圧力弁シール

浮き圧力弁

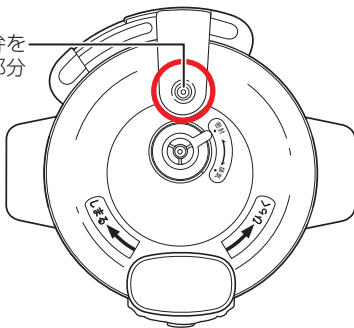


取り付けかた

- ①浮き圧力弁をふたの表側からしっかり差し込みます。

※浮き圧力弁の向きに注意してください。

浮き圧力弁を
差し込む部分



ふた(表側)

浮き圧力弁



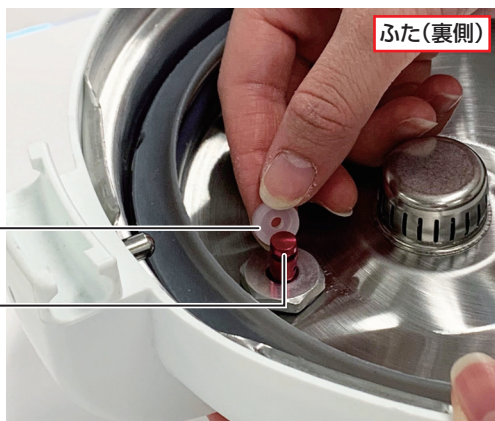
お手入れのしかた

浮き圧力弁（つづき）

②ふたの裏側に突き出た浮き圧力弁のくぼみに、浮き圧力弁シールをはめ込みます。

浮き圧力弁シール

浮き圧力弁

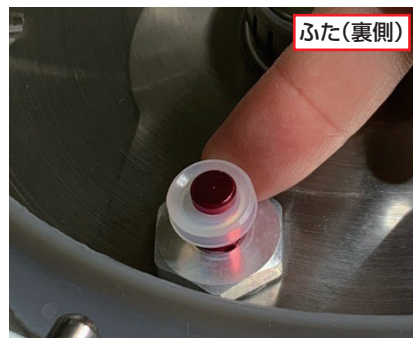


※取り付けが不十分ですと、蒸気が漏れる恐れがあります。

※ふたの裏側から、浮き圧力弁をつまんで数回上下に動かし、引っ掛かりなどが無いことを確認してください。

確認時に無理な力を加えて、浮き圧力弁シールが外れないように注意してください。

良い例 (○)



排気弁カバー

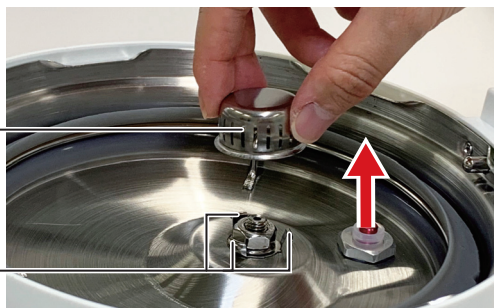
中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。
あらかじめ、ふたを本体から取り外してください。(18ページ参照)

取り外しかた

ふたを片手でささえ、排気弁カバーを少しひねるようにして上に引き抜きます。

排気弁カバー

板ばね



取り付けかた

ふたを片手でささえ、排気弁カバーを板ばねに合わせながらはめ込みます。



蒸気水受け

異物を取り除いて中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

取り外しかた

蒸気水受けを図の矢印の方向へ引き抜きます。

蒸気水受け






取り付けかた

蒸気水受けを図の矢印の方向へ奥まではめ込みます。



故障かな?と思ったら

こんなときは?	確認してください!!
スタートボタンを押しても動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグや器具用プラグが抜けていませんか?
蒸気が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・シーリングが正しく取り付けられていますか? (19ページ参照) ・安全弁おもり・内がま・シーリング・排気弁カバーに異物や汚れがついていませんか? ・浮き圧力弁・ふた裏側の浮き圧力弁シールは正しく取り付けられていますか? (22～23ページ参照) <ul style="list-style-type: none"> →紛失された場合は新しくお買い求めください。(28ページ参照) ・内がまに歪みなどの変形はありませんか? <ul style="list-style-type: none"> →内がまは消耗品ですので、新しくお買い求めください。(28ページ参照) ・シーリングが劣化し変色していませんか? <ul style="list-style-type: none"> →汚れなどがとれない場合は、新しくお買い求めください。(28ページ参照) ・安全弁おもりが「排気」の位置になっていませんか? <ul style="list-style-type: none"> →「密封」の位置に合わせてください。 ・ふたは確実に閉まっていますか? <ul style="list-style-type: none"> →ロックの赤いマークと本体の赤いマークが合っていることを確認してください。 ・安全弁おもり裏側のスプリングは正しい向きで取り付けられていますか? (21ページ参照) <ul style="list-style-type: none"> →紛失された場合は裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。
煮汁と蒸気が噴き出す	<ul style="list-style-type: none"> ・ふたは確実に閉まっていますか? <ul style="list-style-type: none"> →ふたのロックマークと本体の赤い「」マークが合っていることを確認してください。(11ページ参照) ・調理材料(水・調味料・調味液含む)の量が多すぎませんか? ・圧力がかかっているときに、急に安全弁おもりをはずしていませんか?
調理が上手にできない (生煮え、煮えすぎ、焦げるなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマーの時間設定を間違えていませんか? ・水や調味液の量を間違えていませんか? ・調味料はあらかじめ溶かしてから入れましたか?
タイマーが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱ランプが点滅していませんか? <ul style="list-style-type: none"> →加熱ランプ点滅中(加熱中)はタイマーは進みません。 ・蒸気が漏れていませんか? <ul style="list-style-type: none"> →蒸気漏れがあると加圧ができずタイマーが進みません。このページの「蒸気が漏れる」項目を参照してください。
ふたがスムーズに 閉まらない・ロックできない	<ul style="list-style-type: none"> ・シーリングが正しく取り付けられていますか? (19ページ参照)
安全弁おもりが取り付けできない	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリングが正しく取り付けられていますか? (21ページ参照) <ul style="list-style-type: none"> →紛失された場合は裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。

こんなときは？	確認してください!!
<p>操作部の時間表示窓に「E1」「E2」「E5」「E6」が表示される</p>	<p>「E1」「E2」：センサーの不具合が考えられます。 →裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。</p> <p>「E5」：ヒータープレートの汚れが考えられます。 →ヒータープレートの表面の汚れをきれいにふいてください。 ヒーターが過熱状態ですので、本体が冷めるまでご使用をお控えください。</p> <p>「E6」：加熱不良が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーリングが正しく取り付けられていますか？ →シーリングの取り付けを確認してください。 ・ふたは確実に閉まっていますか？ →ふたのロックマークと本体の赤い「」マークが合っていることを確認してください。(11ページ参照) ・内がまに歪みなどの変形はありませんか？ →内がまは消耗品ですので、新しくお買い求めください。(28ページ参照) <p>※上記の処置後、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグを差し込んでスタートしても表示が変わらない場合は、裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。</p>
<p>操作部の時間表示窓に「E7」が表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふたは確実に閉まっていますか？ →ふたのロックマークと本体の赤い「」マークが合っていることを確認してください。(11ページ参照)

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は、本書の裏面に添付されています。（※本書から切り離さないでください）
- 保証書はお買い上げの販売店で「お買い上げ日」と「販売店」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。


2. 修理を依頼されるとき

- **保証期間内**
商品に本書（保証書）を添えて、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。保証の記載内容により、無料で修理いたします。
- **保証期間が過ぎている**
お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 「電気圧力鍋」の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

4. 長年愛用された製品の点検（★長年ご使用の電気圧力鍋の点検を！）

愛情点検	ご使用の際に、この様な症状がありませんか？	
	<ul style="list-style-type: none">● プラグや電源コードが異常に熱い。● 電源コードに深いキズや変形がある。● コゲくさい臭いがする。● その他の異常、故障がある。	<p>一つでも該当する場合には →</p> <p>故障や事故防止のため、電源を切ってプラグをコンセントから抜き、必ず販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。</p>

以上、アフターサービスについてのご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は、当社個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談/お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のためにアルファックス・コイズミ株式会社および関係会社で上記の個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに、適切な管理/監督をいたします。

別売品について

- 別売品のお求めは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にお問い合わせください。

別売品は弊社ホームページ（二次元コード）でもお買い求めいただけます。

- 掲載サイトの閲覧は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。）
- お使いのスマートフォン等により、正しく表示されない場合があります。



<p>内がま</p>		<p>ふた一式 （シーリング/ 安全弁おもり/ 浮き圧力弁付き）</p>	
<p>安全弁 おもり （スプリング付き）</p>		<p>シーリング</p>	
<p>電源コード</p>		<p>浮き圧力弁 （浮き圧力弁シール付き）</p>	
<p>蒸皿</p>		<p>レシピブック （2種）</p>	

- 内がまのフッ素加工は消耗しますので、定期的な交換をお勧めします。

MEMO

MEMO

【保証・無料修理規定】

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご準備の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、リサイクル店（中古品）、中古販売店、オークション等により入手された場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 出張修理は行っておりません。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。日本国外からの修理依頼や補修用部品・消耗部品の発送依頼には対応しておりません。
Effective only in Japan. We do not offer repair service or dispatch maintenance parts or consumables internationally.
8. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。

電気圧力鍋 LPC-T1201 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から、下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

品名／型番	電気圧力鍋 / LPC-T1201		
お買い上げ年月日 *	年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1年	
お客様	お名前 *		
	様		
	ご住所 *		
	TEL	()	
	*販売店		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売店の皆様へのご願い

必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

お客様サービス窓口・修理受付

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

【お客様サービス窓口】 ☎ **0120-115-224** 電話受付時間：平日9:00～17:00
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

※修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」に事前にご連絡ください。
※弊社への直接の返品はお受けしておりませんので、あらかじめご了承ください。返品につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

アルファックス・コイズミ株式会社

〒340-0034 埼玉県草加市氷川町2179-17

<https://www.alphax.jp/>